

(仮称) ささえあいセンターの背景と概要

第1 センター建設の背景

本市は、震災により少子高齢化の進展が顕著となり、被災地域は人口流出をはじめ、高齢化が加速し地域を支える人材の減少など、**人口構造や生活環境が大きく変化**している。

こうした地域力の衰退は、**地域コミュニティの低下や住民の孤立・孤独化を招く恐れ**があることから、地域社会を繋ぐ・支える人材を育成することや子どもから高齢者までの多世代交流を図ること、あるいは地域間交流などを推進し、地域の活力を再生させ、**地域での助け合いや支えあうことのできる社会づくりを推進**していく必要がある。

このことから、本市では、高齢者や被災者を中心に全ての市民が、住み慣れた地域で安心して可能な限り、地域で生活できる仕組みづくりを目指す「地域包括ケア」を推進しており、併せて、本市の将来を見据えた子育て支援や障害者支援を含めた施策にも重点を置いた**次世代型地域包括ケアの推進を図る**こととしている。

《各階の主な利用用途》

1F：駐車場、駐輪場（ピロティ）

2F：インフォメーション

ロビーと一体的に開放する「図書コーナー」

地域・町内会の課題解決をするための「地域課題解決ルーム」

親子・子育て世代のための「相談室」「交流室」「研修室」 など

3F：社協への貸与スペース

大規模イベント用の「市民ホール」

各種サークル活動のための「活動室」「展示スペース」 など

《整備スケジュール》

H24	H25	H26	H27	H28	H29				H30				H31	H32
					4	7	10	1	4	7	10	1		
		◎都市計画決定 ◎事業認可	(拠点)											
基本構想 ・基本計画		基本・実施設計												
用地買収												工事		

第2 拠点としての位置付け

震災からの復興には地域力を高めて地域共生社会の実現を推進する必要がある、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、保健、介護、福祉を地域と連携して一体的に提供する「**地域包括ケアを推進する拠点**」として整備することで、地域で助け合いや支えあうことのできる社会づくりの礎となることを目的とする。

なお、災害時には行政や市立病院、地域福祉を担う社会福祉協議会が近接であることから、連携しやすい位置関係となり、医療介護ニーズの高い被災者などの**福祉避難所**として、迅速かつ適切な被災者支援を行うことを目的とする。



※イメージ

敷地面積 約2,900㎡ 建築面積 約1,632㎡ 延床面積 約4,257㎡